

2007年度 計測制御エンジニア講座報告

2007年度計測制御エンジニア講座が下記の通り、実施されたので報告する。昨年より計測制御エンジニア受験者に限らず、計測制御エンジニア及び学生を含む計測制御技術に興味のある方全員を対象としている。今回は、石油化学・石油精製における計測制御技術・計測制御エンジニアの役割を概観するとともに、いくつかの個別話題を提供した。また、プロセス制御専門家養成塾など技術伝承を目的とする諸活動についても紹介した。さらに、近年の国内では比較的大規模な新設プラントの現場見学も実施した。

■ 内容

期 日：2008年1月30日(水)

会 場：鹿島石油㈱ 鹿島製油所

- ・計測制御エンジニアの役割について
江木 紀彦 君 (平成帝京大学)
- ・プロセス制御専門家養成塾など技術伝承の取り組みについて
高津 春雄 君 (横河電機㈱)
- ・石油、石油化学業界の現状と計測制御エンジニア
長崎 一成 君 (㈱ジャパンエナジー)
- ・石油精製プラント工場見学
- ・工業プロセス用調節弁に関する国際規格と最近の業界話題
奥津 良之 君 (㈱山武)
- ・蒸気タービン制御の概要
平田 亨 君 (㈱日立エンジニアリング・アット・サービス)
- ・高度制御 (MPC) の運用状況と課題
矢野 邦久 君 (三菱化学㈱)
大官司 理晴 君 (㈱ジャパンエナジー)
- ・統合計器室実現のための計装技術
中垣 一久 君 (㈱ジャパンエナジー)
- ・効果的な訓練ができる訓練シミュレータ
安田 正樹 君 (三菱化学エンジニアリング㈱)
- ・SICEにおける講座・資格等のご紹介



【講座】

江木氏本人の経歴を交えながら、「計装」の原点から現在に至るまでのどのように発展してきたかを解説された。

特に技術伝承・人材育成の重要性や計測制御エンジニア制度及びその理念について詳しく説明された。高津氏からは、計測制御技術の問題点に始まり、技術伝承の重要性と標準化の動向等についてご講演いただいた。長崎氏からは、石油業界の現状と計測制御エンジニアについて解説いただいた。それ以外にも石油業界に関わる現状と計測制御エンジニアについて講演された。

鹿島製油所の現場見学会においては、原料の荷揚げ場所に始まり、石油精製プラントにより様々な製品が製作される過程を広大なプラント内をバスで移動しながら、詳細に解説された。

■ 懇親会

講座の後、懇親会が開催された。会長も含めて講座参加者の有志が30名近く出席し、全員の普段の仕事内容や今後の計測制御エンジニアの活性化方法等について活発な意見交換がなされた。



■ 計測制御エンジニア会の今後

「計装エンジニア」として資格認定試験制度が9年前にはじめられ、200名を超える計測制御エンジニア登録者が登録されるに至った。エンジニア会としても昨年発足し、総会参加者も15名程度から40名程度まで増えてきている。決して早くはないがゆっくりと確実に活動実績も増えてきている。新体制のもと「魅力のある会」にしていきたいと思っております。

皆様の参加をお待ちしております。

上記発表内容についてはホームページ：

<http://www.sice.or.jp/~keisoueg/>

から、一部ご覧になることができます。

(計測制御エンジニア会 東京ガス(株) 淵 昌彦)